

武蔵野赤十字病院

教育体制について

# 武蔵野赤十字病院 継続教育

## 教育目的

武蔵野赤十字病院の理念、看護部目的に沿って、看護の専門職として時代に即応した、安全で質の高い看護を提供できる看護師を育成する

## 教育目標

1. 組織の一員としての自覚をもち赤十字の看護師として責任ある行動をとることができる
2. 臨床実践能力を高め、安全で質の高い看護を提供できる
3. 看護の専門職として自己教育力を発展させるとともに自己の方向性を見いだせる

# チューターシップ制度

- 新入職看護職員に決まった相談相手（チューター）を配置
- 仕事の仕方や学習方法、悩みごと、広範囲にわたる相談の窓口となり支援
- 日々の看護業務における実践的指導は、チューターも含めた日々の実地指導者が担当

# 新人看護職員を支えるしくみ

## 支援体制

同僚を働く仲間として、  
お互いに尊重し、  
対等に話し合える  
人間関係を築きます。



新人看護職員としての1年を  
映像でご紹介します



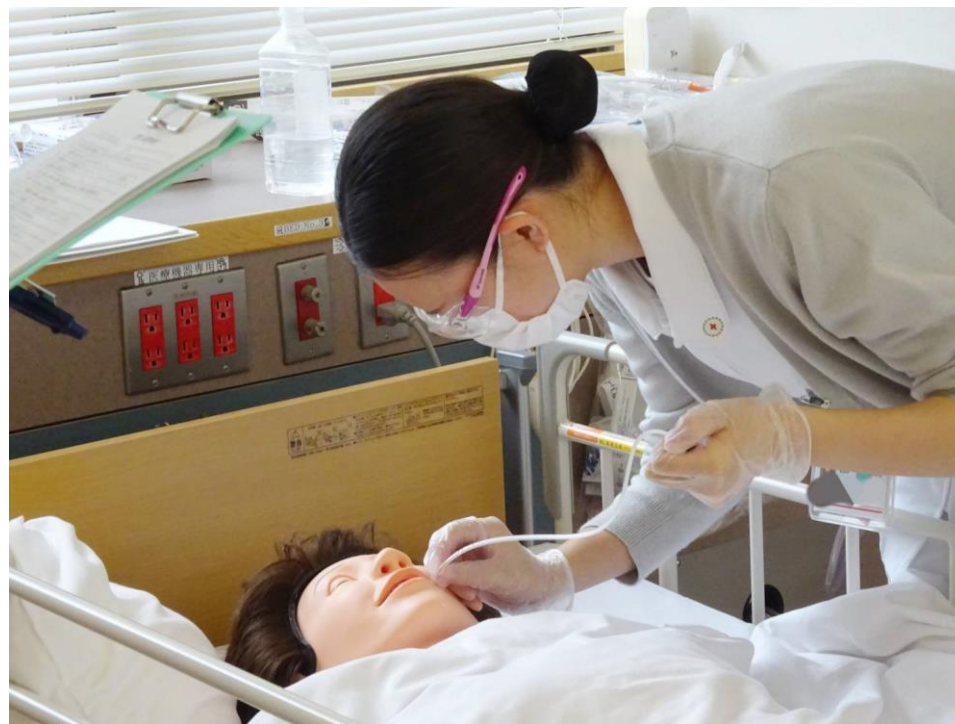
# 令和4年度 新人看護職員研修

月	目標		講 義	演 習
4 ～ 6 月	基礎を磨く	指導を受けながら徐々に看護実践	教育計画 看護記録 業務基準 社会人基礎力 組織社会化 安全 排泄ケア 褥瘡予防 薬剤Ⅰ 栄養管理 がん化学療法 疼痛コントロール 麻薬管理 看護必要度 ストレスマネジメント 入退院支援	感染管理ⅠⅡ 点滴管理 輸液ポンプ 輸血 寝たきり患者の生活支援 BLS 血糖測定 採血 皮下注射 心電図 フィジカルアセスメント・多重課題 酸素療法 口腔ケア・吸引 フォローアップ
7 ～ 9 月	チームで活動する	メンバー業務・夜勤業務に入る	高齢者看護 認知症看護 糖尿病看護 院内急変対応	フォローアップ
10 ～ 12 月	看護を磨く	指導を受けながら看護過程を展開	看護倫理Ⅰ 薬剤Ⅱ	看護とコミュニケーション 感染管理Ⅲ フィジカルアセスメント エンゼルケア フォローアップ
1 ～ 3 月	まとめる	患者を継続的に受け持つ	排泄ケアⅡ 褥瘡評価 リフレクションとキャリア開発	看護を語ろう フォローアップ

## 採血



## 吸引





## BLS研修



## 感染管理研修





## 1ヶ月フォローアップ研修



## 3ヶ月フォローアップ研修



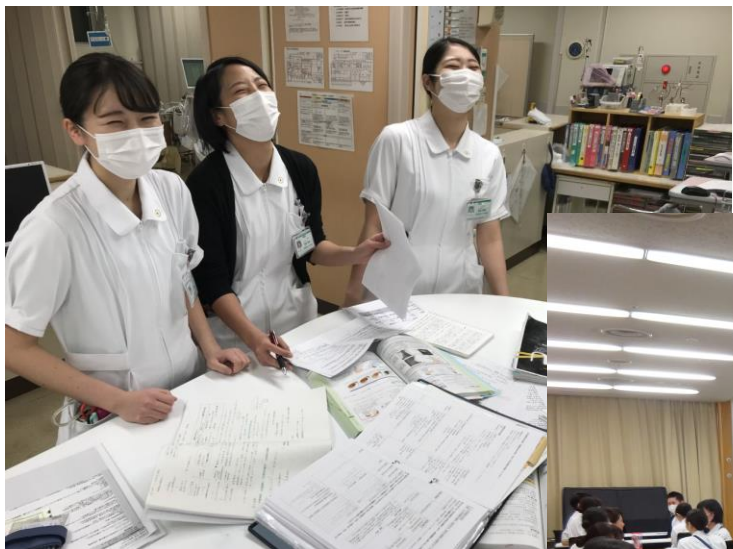
# 国内救護に参加できる“赤十字看護師”の育成

- 災害基礎研修・フォローアップ研修受講
- 院内救護委員会に参加
- 院内外の救護訓練に参加
- 日本DMAT・東京DMAT・全国赤十字救護班活動  
(災害派遣医療チーム Disaster Medical Assistance Team)

# 赤十字概論・赤十字概論







研修では、  
同期とたくさん語り、笑い、  
支えあいます





# 一年目 修了式





# 末梢静脈路確保技術研修





# 繼續看護研修



# 人工呼吸器研修

